

新年のごあいさつ

代表取締役社長
長浜 好数



お客さまとともにチームワークで成長をしたい

謹んで年始のご挨拶を申し上げます。

この度、1月1日付で代表取締役社長に就任いたしました、長浜好数でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



私は九州の宮崎で生まれました。元来の寒がりな、暖かな宮崎で、のんびりと育ったせいではと思います。東京で大学を卒業し、職業人生のスタートは北九州の地でした。多くのお客さま、多くの方々に出会い、支えて頂き、怒られ、喜んで頂きながら、15年にわたり仕事をさせて頂きました。その後は東京を中心に、ITで多くのお客さまのご支援をさせて頂き、本年で職業人生33年目となります。

私にとりまして北九州は、職業人としての土台を築くことの出来た大切な“ふるさと”です。今回の就任というご縁を機に、これまで積み上げてきた経験をメンバーと共有し、常にお客さまを感じながら、少しでもそのビジネスに貢献したいと思っております。そして、“明るく、元気に、皆さまとともに成長したい”と強く思っています。

北九州が“環境モデル都市”として、全国にその名を知らしめていることは、衆目の一致するところです。また、昨年より続く“アベノミクス効果”を含め、少しずつですが経済循環の潮目も変わりつつある事を、皆さまも感じられているのではないかと思います。

その中で弊社を取り巻く環境は、まだ厳しい状況にあります。この状況をしっかりと把握し、これからお会い出来ますお客さまひとりひとりと、率直なコミュニケーションを取らせて頂き、より深く、広く、お客さまのビジネスの成長に貢献できる会社・チームになれるよう精進して参る所存です。

皆さまからの信頼に支えられ、昨年、私共は創業46年、JBグループの一員として6年目を迎えることができました。次の50周年にむけて、2つのお約束をいたします。

- お客さまとの率直なコミュニケーション活動を愚直に行って参ります。
- より深い、広い、新しいお客さまビジネスへの貢献を目指して参ります。

何卒、今後とも変わらぬご愛顧と、ご指導賜りますようお願い申し上げます。





お客さまとの接点強化

取締役 上級執行役員
松岡 信行 (営業統括担当)



旧年中は格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。
弊社では、“光りものソリューション”を整理し、これまでの経験で得た
知見のアセット化に取り組みながら、見える化を推進してきました。

広報誌「そるねとつうしん」を通して、日々の活動やCSRへの
取組みについてお伝えしてきたのも、その活動の一部です。

また、営業部門内に「お客様センター」組織を設置し、
『よりスピーディに、より極め細やかに』というスローガンのもと、お客さま中心の活動を
心掛け、加速させてきました。

今年は更にその活動を拡大・充実させ、これまで以上にお客さまとの会話の機会を増やし、
気付き・理解を深め、関連部門との活発なコミュニケーションと情報共有を図り、より多くのお客さまに、より多くのご満足と元気をお届けすることを目指していきます。営業・エンジニア・スタッフ一丸となって、お客さまの成功に少しでも多く貢献させて頂けるよう、取組んで参りますので、ご指導ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



さらなる品質向上を

執行役員 事業部長
重岡 徳史 (第1SI&S事業部)



旧年中はたいへんお世話になり、厚く御礼申し上げます。

当事業部は、お客さまより“NO1パートナー”と言っていただけるように

- ①ご提供させていただくサービス品質の更なる向上
- ②お客さまとの“関係の質（親密度）”の更なる向上

に取り組んでまいりました。昨年は、ソリューションばかりでなく

ITインフラ整備（ハードウェア含む）など全方位にわたり、ワンストップで

ご支援させて頂くことを狙いとして組織改正を行いました。今年も状況に応じて逐次、最適化
させていきたいと思っております。また、さらなる品質向上を実現する為、SPEAK-IPA(※1)
等を活用した評価～改善～実践のサイクルで、開発・保守プロセスに対する業務改善を継続的
に行っています。

そして、お客さまと深くコミュニケーションさせて頂くことで、意志疎通・一体感を共有さ
せて頂ければと思います。微力ではございますが、お客さまの成功に繋がる
よう、頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

※1：ソフトウェアプロセスの供給者能力判定及びアセスメントキット-IPA版





関心事をお届けします

理事 事業部長
野田 清文 (第2SI&S事業部)



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨今、クラウド・モバイル・ビッグデータなど、新しいITが続々と活用されており、お客さまの大きな関心事になっています。

このような中、ITの新たな潮流にオープンソースソフトウェア（OSS）が欠かせない存在との判断から、このOSSを使ったシステム開発や、モバイル利用においてRIA（※1）の技術を使ったユーザーインターフェースの向上に取り組んで参りました。また、クラウドに必要な不可欠なインフラの仮想化技術については、ネットワークの仮想化まで範囲を広げ、モバイルファーストが採用される時代に、MDM（※2）等の管理技術の取得にも挑戦しております。

今年もこれらの技術を、環境、公益法人、製造等の“光りものソリューション”に盛り込み、お届けして参ります。社員ひとり一人の活動を通して、お客さまの課題解決に貢献できるよう更なる努力を続けていく所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

※1： Rich Internet Applications : 操作性や表現力に優れたWebアプリケーション

※2： Mobile Device Management : モバイル機器管理



ITでグリーン成長に貢献

理事 室長
大岡 肇子 (環境SOL推進室)



あけましておめでとうございます。環境ソリューション推進室を立ち上げて、二度目の新年を迎えました。「グリーンプラネットパック」をリリースして活動を開始してから、「港湾地域低炭素化推進実証事業」の採択、エコテクノ展等への出展など、「環境のソルネット」を広める活動を、積極的に取り組んでまいりました。

昨年10月、北九州にて、「OECDグリーンシティ・プログラム北九州レポート発表記念会議」が開催されました。北九州市のグリーン成長への経済面や環境面での取り組みを分析した結果、さらなる成長の可能性を高めるためにも、企業・業種・地域・国際間の“連携”、“交流”、“協力”が必要であると提言されています。

ITこそが、その繋ぐ役割を果たすことができると私たちは考えます。弊社のITソリューションは、動脈サプライチェーンと静脈サプライチェーンをつなぎ、循環型社会の質の向上や、資源循環の促進を実現することができます。

今年もITで情報共有・連携・見える化のお手伝いをし、北九州のグリーン成長に貢献できるよう頑張っていく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。





ソルネット スポーツ大会！

主催・企画
社員会



秋晴れの11月23日。社員とご家族（103名）が集まり“スポーツ大会”を開催しました。メイン競技は、4人制ソフトバレーボールです。その他にも卓球や大縄跳び、ミニ競技の体力測定(反復横跳び、前屈ほか)など家族と一緒に楽しめる競技も準備し、社員代表と家族代表の“選手宣誓”で元気に開会しました。

ソフトバレーボールでは、社員間の交流を深めるため、事業部を跨いだチーム構成で試合に挑みました。最初はお互い遠慮がちなプレーでしたが、すぐに“チームの輪”が形成され、広い体育館に掛け声と笑い声が響きわたりました。



選手宣誓！

また子供たちも、お父さんの上司を相手に卓球を楽しんだり、体力測定で柔軟さを自慢し合ったりと、日頃と違った“家族サービス”に大いに盛り上がり、弾けるような最高の笑顔を見せてくれました。

帰る頃には、全身が脱力するような“疲労感”がありましたが、部門を越えた社員の“連帯感”をしっかりと再確認することができました。



体力測定 個人優勝
(斉藤さん)

第9回 パワーアップフォーラム開催

(品質マネジメントグループ主催のプロジェクト成果発表会)



11月26日 様々なプロジェクトから厳選した3案件と、技術報告1件を加えた成果発表会を実施しました。技術報告では、「ユーザーの使用感」を向上させるRIA(※1)技術のアセット化状況などが報告され、「誰もが使いたくなる業務アプリケーション」を追求していくことが、今後、必要不可欠であることを再認識しました。

今後も、この発表会通して、メンバーが得たノウハウや教訓などを情報共有していき、社内全体のスキルアップを図って参ります。

※1：Rich Internet Applications（操作性や表現力に優れたWebアプリ）

パネラーとして参加！

ファザーリング全国フォーラム in九州



12月20日、21日 西日本総合展示場（北九州市）にて、「笑っている父親を増やす」ことをミッションとして設立されたNPO法人ファザーリング・ジャパンの開催するイベントが開催されました。

「家族を楽しむ働き方」というテーマでシンポジウムや分科会が構成されており、その中の「企業が取組むワーク・ライフ・バランス」をテーマとする事例発表に、事業管理の上別府さんがパネラーとして参加いたしました。会場に集まったスーツ姿の地元企業の方々や子供をつれたママたちが、熱心に聞き入る姿をみて、「働きやすい環境整備」に対する市民の関心の高さを感じました。





お客さまの真のニーズを捉えるために

こんにちは！ 商品検査チームの内田です。

私たちは、国内最大手の地図情報会社「株式会社ゼンリン」様が製作する“カーナビソフト”の検査ツール開発を、十数年にわたりご支援させて頂いています。

近年のカーナビソフト市場では、最新の道路情報で安心・快適なカーライフを支えるため、より広範囲な、より高精度な、より高鮮度な情報が求められています。検査工程では、膨大な地図データを短期間で正確な情報として整理するため、高い品質と高い生産性で処理できるツールが必要不可欠です。

こうしたニーズに対し、私たちは今までの業務で培ってきたスキルやノウハウを活かして提案活動を行い、また、お客さまの求める品質と生産性に、お応えできるような業務推進・チーム作りを実践しています。

さらに、現在の業務推進を客観的に評価するソフトウェアプロセスアセスメント『SPEAK-IPA』等も活用しながら、お客さまの真のニーズを捉えるためのプロセス改善も継続的に行っています。

今後も、お客さまのご期待・ご要望に的確にお応えし、お客さまの成功に貢献すべく、日々研鑽して参りたいと思います。

(地理情報ソリューション部 内田 聡)



左から 相島、内田、花田、佐々木

チームメンバー紹介

<今後の抱負を一言！>

<p>相島 宣久</p> <p>2013年の“今年の漢字”は『輪』。私共も、お客さまとの『輪』を大切に、切磋琢磨しながらともに成長して参りたいと思います。</p>	<p>内田 聡</p> <p>「お客さまの期待に、どのようにお応えするか？」を、チームメンバー全員で日々研鑽しながら成長していけるチームをめざし、日々邁進致します。</p>
<p>花田 好央</p> <p>今後もより一層のスキルアップを行いながら、検査業務に関するソリューションの提供を通して、お客さまに喜んで頂けるように日々努力し続けていこうと思います。</p>	<p>佐々木 健二</p> <p>業務を通して、地図の品質がいかに重要であるかということをお客さまより学ばせて頂きました。今後は地図データの品質向上という形で貢献していきたいと思っています。</p>



TEAMソルネット！！

「えー！社長変わるの？」と小学生の娘が驚きました。私が家で「今度社長が交代するんだよ」と言ったときのことです。

会社のイベントに家族で参加すると、いつも社長はじめいろいろな社員に「来てくれてありがとねー。」と声を掛けられるので、顔を覚え、親しみを感じていたようです。いつのまにか、家族である娘も、“前社長とつながっていたんだなあ”と気づき、何だか温かい気持ちになりました。

会社のイベントには、夫婦や子どもをはじめ、年配のご両親やかわいい甥っ子姪っ子まで、たくさんの家族が参加します。みんなで一緒に過ごすうちに、いろんなことが見えてきます。

例えば社員同士では、家族だけに見せる優しい表情や、センスのよい私服、意外な才能に触れて、心の距離を縮めることができ、参加した家族は会社の様子を知って安心できるようになります。

また、地域の駅伝や環境首都検定などにチャレンジしたときは、みんなで力を合わせて頑張ったり、声を掛け応援しあったりするうち、社員・家族がひとつになって「TEAMソルネット」を形作っているのだということを実感できました。

イベントが終わり、企画してくれたメンバーに感謝を伝え、労をねぎらいあって別れると、帰り道はいつも心が満ち足りて、前向きな明るい気持ちになっています。それは単に、楽しいイベントに満足したからというだけでなく、自分がまぎれもなくこのチームの一員であり、メンバーに受け入れられ、必要とされていることを、改めて確認できるからだと思うのです。

そして、この満足感をみんなが感じているからこそ、社内イベントは毎年繰り返され、毎回たくさんの社員が参加しているのではないかと思います。

「ソルネットさんはいつも元気な活動をしていますね」とよくお声掛け頂きます。イベントを通じ、その度ごとに社員ひとり一人がたっぷりとチャージした“笑顔”と“元気”を、今年もお客さまに、たくさんお届けすることができるよう頑張ります。 (Y.N)



編集後記

『恋チュン』をご存知ですか？ 様々な団体・企業で、トップから警備員までが一緒になって、カモンベイビ〜♪と職場でダンスする映像。会社(社員)の雰囲気を目撃し、つい、見入ってしまいます。弊社のリアルな雰囲気も、この広報誌で感じて頂きたいと思っています。(K.K)

